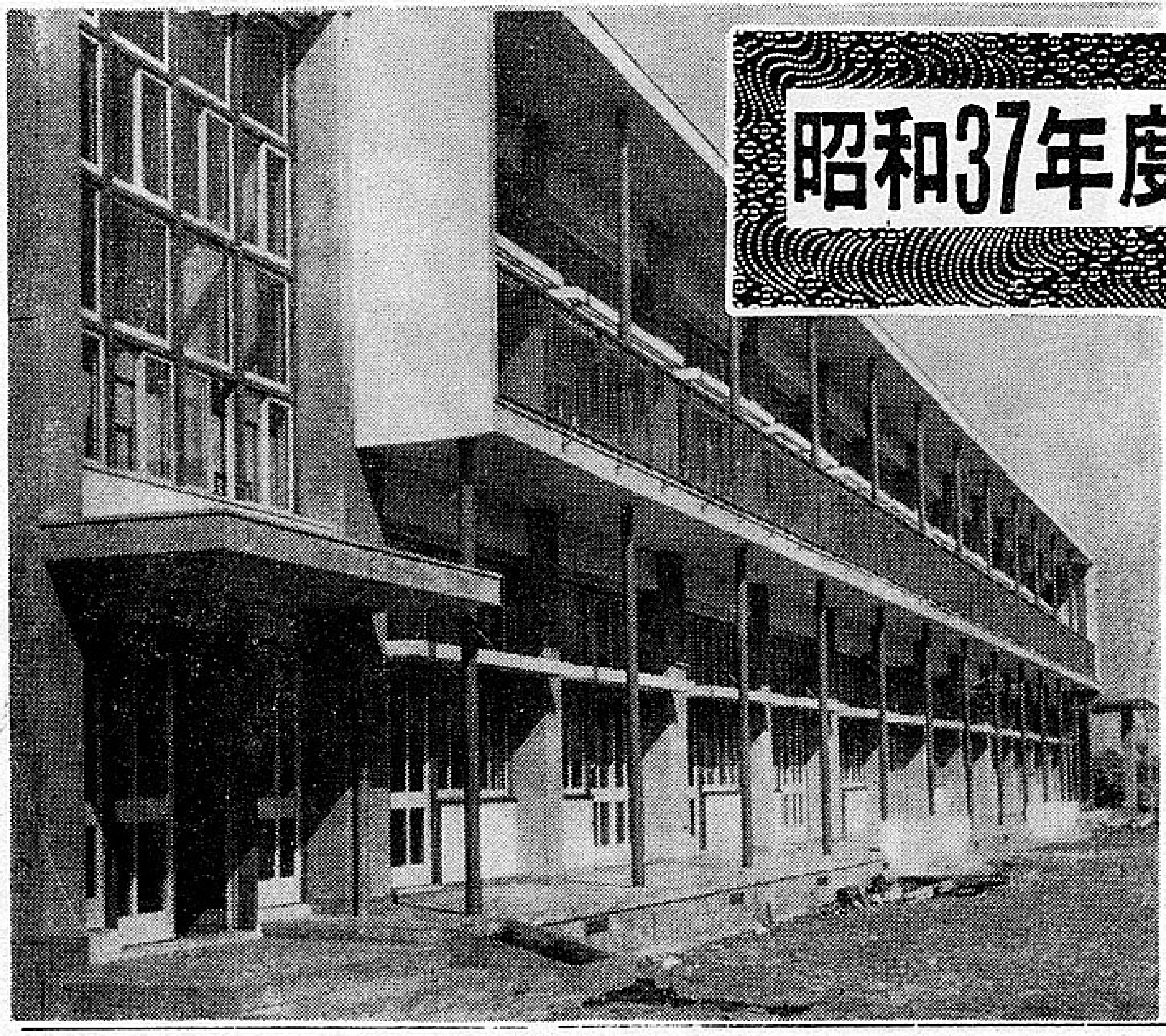
昭和37年度　八潮村の学校現況



中学校の部

二学期から全生徒を収容
完全統合する八潮中

新村建設の理想にともない、八潮中学校はさる昭和三十六年四月一日潮止中学校と八条中学校を統合して誕生し、次いでこの三十七年四月一日八幡中学校をも統合、所期の目標どおり全村の子弟を一丸として教育する八潮村の理想的学園として、ぜひ都市にも負けない施設内容を完備するため、村をあげての協力が続けられていることはご承知のとおりである。しかも第二期工事（普通教室十二）は着々進渉し、ほぼ予定どおり（八月中旬竣工予定）完成する見通しなので、いよいよ第二学期からは潮止、八幡両分教場を廃止し、全生徒九百十八名（内男子生徒五百九十七名、女子生徒三百二十一名）を本校に収容、変態的な分散教育に短期間で終止符をうつことになった。

このように三校統合という大きなしごとにともなう、学習低下や関係者の不利不便を早く切り抜けて理想的にはかどることが出来たのは、村民各位の統合中学校育成への熱意ある協力のおかげにほかならない。数年にわたって統合の理想の為に多大な不便を忍んでいる他市町村の多くの実例にかんがみ、それだけ職員生徒の感げきも大きいと言わなければならない。けれど統合中学校はまだまだ本当に発足したばかりで施設内容ともども更に数々の課題を解決し、首都と県南の谷間、教育のあい路としての八潮村に立派な中学校教育の殿堂を作り上げて新村の理想を実現し、時代に相応した大きな使命を果さなければならないのである。そのためにはこれまで以上のみなさんの熱心な支援を仰ぐこと切なのは言うまでもないことである。

第三期工事は特別教室
校庭整備もすぐに着手

第二期工事の完成も目前になったので、さる七月二十四日八潮中建築常任委員会が開催され、次の第三期工事（特別教室として理科室2、技術科室2、家庭科室2、音楽室2）の設計原案を審議し、さらに校庭整備の緊急工事を協議した。

その結果"村財政のゆるす限りぜひ子どもたちに立派な教育施設を"という強い要望を以て、原案に更に二、三の付帯設備を追加し直に設計の作製にとりかかることになった。十月ごろには入札契約の運びに進め昭和三十七、八年度にまたがって来年七月には竣工を見ることになろう。

なお校庭埋立整備は第二学期の生徒たちのために緊急着手する段どりに決った。

本年度の教育計画

念願かなっていよいよ本校で全生徒学習にいそしむことになった八潮中学校は十九学級（現在二十学級）編成で、十九教室を使用、更に教員教務室二、特別教室用三を以てまず本年度の教育計画を進めてゆくことになる。

教育方針

教育は人格の完成をめざし、平和な社会を建設し、正義を愛し勤労と責任を重んずる国民の育成でなければならない。そのために教師は正しい教育観と信念を教育に打出すことである。本村が統合以来懸案の統合中学がいよいよ発足するに当り、村行政、村民の期待に答えるため以下の目標をかかげ、全職員一体となって八潮丸を運転する方針である。

▽**職員の信条**△教権の確立、愛される教師、教育公務員であることの自覚。

▽**生徒の心構え**△　物を大切に人を大切に、国を大切に。

▽**努力目標**△基礎学力の向上、改訂にともなう教育課程の編成と実施、道徳教育の徹底と教科を通しての生活指導。

教育課程（週時数）

教科＼学年		1年	2年	3年
必修教科	国語	5	5	5
	社会	4	5	5
	数学	4	4	5
	理科	4	4	4
	音楽	2	2	1
	美術	2	1	1
	保体	3	3	3
	技術 家庭	3	3	3
選択教科	外国語	5	5	5
	道徳	1	1	1
	特活	1	1	1
	計	34	34	34

職員組織

校長	川上　行則	
教頭	清水　義潔	
教諭	杉村　文子	（国・英）
〃	○坂井　正喜	（国・家）
〃	渡辺　義衍	（国・数）
〃	沖　あき子	（音・国・家）
〃	杉村　良哉	（英・理）
〃	和井田彰亮	（音・体・理・美）
〃	鴇田昭一郎	（数・理・体）
〃	竹内操三郎	（数）
〃	飯山　三郎	（英・社・体）
〃	熊木　俊雄	（音・数・国）
〃	成沢トキエ	（家・体・国）
〃	田中　一郎	（英・技）
〃	須見　秀雄	（社）
〃	田中　敬祐	（英・体）
〃	角谷　繁男	（理）
〃	山下　鉄弥	（数）
〃	本多　茂雄	（英・技）
〃	小宮　啓至	（美・英）
〃	松田　温昭	（社・体）
〃	○有馬　昭弘	（技・国・社・体）
〃	実川　博子	（家・国）
〃	倉上　明	（社・技）
〃	渡辺　国子	（国・体）
〃	数野　武明	（理・美・体）
〃	飯吉　昌治	（音・美・数・技）
〃	會那田智勝	（社）
〃	○吉沢　直奕	（理）
助教諭	館川　喜一	（理・数）
事務官	鈴木　真夫	

（○印は本年度新任、カッコ内は現担当教科目、大学は免許教科）

PTA概要

創設　昭和三十七年四月一日

会員数　八百四十名

役員　会長＝斎藤哲夫、副会長＝鈴木利兵衛、秋山佐吉、大山謹吾

小学校の部

伸びゆく八潮村にふさわしく
豊かな小学校の環境

時代の進展にともない小学校教育課程も未曽有の改訂がなされ、その為に、地域教育の上にこれを実現して立派な豊かな教育内容、環境を整備するために払われなければならない努力も並大ていではないのである。しかも実情から見てわが八潮村は統合八潮中学校の建築整備に大きな犠牲を払っているので、小学校施設整備に充分な余力を向けられないことは止むを得ないものがあろう。けれど「日日子供たちは育つのであり、日々大切な教育は充実されなければならない以上」こうした悩みがある。これを克服して何とか立派な豊かな小学校環境を造成しなければならないところに重要な教育行政の課題があると言えよう。こゝに村当局、議会、教育委員会、学校そして父兄である村民との充分な協力による四、五年の時日をかけた綿密な計画を樹立し、その実現を努力することが大切となって来る。教育委員会は学校と共に五ケ年計画をたて、小学校特別教室の確保、児童の教育環境に相応しい塗装、照明、学校園の整備、時代に即応する理科視聴覚教育設備、運動場その他保健体育施設の充実、さらに給食施設プール、施設の整備等を研究し、この時日の間に何とかこれらを達成したいと努力している。

環境の整備に努力
―八幡小学校―

明治六年転々とした寺小屋教育式に始まった八幡小学校は、町村制施行の明治二十二年におよその基礎を確立し、明治三十七年四月現在地に校舎を新築、その五月一日を以て開校。この日を創立記念日として今日に発展して来た。現在校地二五四四坪、普通教室十七、理科・音楽・図書・礼法室の特別教室を備え、六七六名の児童（男子三百五十八名女子三百十八名）を収容し、新教育課程に基き、明るく強く正しい社会人に児童を育成するため努力している。

八幡小学校章

教育方針

（1）児童の全生活を対象としてあらゆる時と場所をとらえて教育する。

（2）基礎学力の向上と生活指導の徹底をはかり、全人的陶冶を目ざす。

（3）保健衛生と体育の一連した進展をはかる。

（4）児童の人格を尊重し、自主的活動を重んずるが、教師は傍観者でなく、常によき助言者、親しい相談あい手となる。

（5）学校における児童に規律性をあたえ、組織の一員として行動ができるようにする。

（6）周到綿密な研究、万全の準備と方法、慈愛のこもった指導で教育実績をあげる。

（7）地域社会、とくにPTAとの関係を密にし、学校と家庭と社会とが互に協力し合って児童の教育にあたる。

右のような教育方針に従い、基礎学力の向上、道徳教育、健康教育の強化、環境の整備を本年度の努力目標としている。

〃ぜひほしい広い運動場を〃
八幡小学校の全父兄から陳情

八幡小学校の校庭拡張は多年の宿願であったが、段々地域の発展につれて適地の入手が困難になる実情から、このほど八潮中八幡分教場の廃止という機会をとらえ、ぜひ児童のためにこれを実現して欲しいと、八幡小PTA会長小沢氏を始めとする全父兄の熱意にもえた陳情が村、教育委員会に上申された。

さる六月の定例村議会においては関係議員からの説明熱望もありこの問題について、熱心な審議が行なわれた。村及び教育委員会においてもかねてから懸案としていた問題であり、潮止、八条両小学校に比較して恵まれぬ一、四〇〇坪足らずの校庭では学校行事にも支障し、学校施設整備の最大のがんと考えられるので、種々関係方面と交渉しその陳情の趣旨を実現させるよう努力する考えでいる。

職員組織

校長	小島　透	
教頭	清水　淑郎	
教諭	田口　一道	視聴覚
〃	中村喜代子	一の二

（四頁へつづく）

教育委員会メモ

◎夏休み中の教員研修

七月二十四日終了式を一せいに行い各小中学校とも夏季休業になったが、年次休暇や個人研修の幾日かを除いて、各校の教職員はそれぞれ各校の夏季日程に従って、勤務している。又県教育委員会のその間に主催する教科研修会、研究集会など各分野に分れて開かれ、次のようにこれに参加研修している。

▽図工科教材研究会田口教諭（条小）渡辺教諭（潮小）柳沢教諭（潮小）君島教諭（幡小）中村教諭（幡小）伊草教諭（幡小）

▽音楽研修会、今井教諭（条小）平木教諭（幡小）角谷教諭（幡小）川島教諭（潮小）林教諭（潮小）

▽理科実験実技研修会　山角教諭（条小）針生教諭（潮小）吉川教諭（幡小）堀切教諭（幡小）

▽理科実験講座　田口教諭（幡小）小島教諭（潮小）

▽英語研修会　小宮教諭（潮中）

▽水泳講習会　堀切教諭（条小）

▽中学研究集会、（国語）熊木（理科）館川（音楽）飯吉（美術）数野（保体）田中啓（技術）本多、沖（外語）小宮（道徳）和井田（特活）杉田教諭

▽小学校研究集会、（国語）久保田（理科）小島（家庭）若杉以上幡小（算数）大山（図工）平本（道徳）今井以上条小（社会）遊馬（音楽）柳沢（保体）安東（特活）大谷以上潮小教諭

◎教委から各校の研究指定

村教育研究会の協議の結果決定した各校研究課題を改めて本明年度の教育委員会の指定研究とした。

八潮小　技術家庭科研究
八条小　保健体育研究
潮止小　視聴覚教育研究
八幡小　理科研究

それぞれ各校の特色希望をいれてその教科を研究し各校相互の整備充実の資料とすることになる。

◉全国学力テスト円滑に終る

さる十一日十二日小中学校において一せい学力調査を実施し、各教職員の心からの協力により極めてスムースに終了した。なおこの採点は八潮公民館を採点会場として八月六七日と行われる。

◉教育特集について

教委からも要望していた各種共同の学校要覧が印刷されたので、この内容の主な点を中心に教育特集を発刊した。どうか今後とも村民各位の大きな関心と御支援を八潮の教育行政に賜りたく切願する。

教育長記

× ×

なお三、四面については文責教育長にあること附記します。